職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		ひ に いっ	年月日	校:	長名			所在地			
熊本保育医療スポ 学校	一ツ専門	平成28年3	月14日	西村	幸夫	(住所)	860-0047 熊本県熊本市西区春	□ 日2丁目2-35			
設置者名		設立認可	年月日	代表	長者名		096-327-5500	所在地			
学校法人大原	学園	昭和54年	4月1日	中本	毎彦		101-0065 東京都千代田区西神	田1丁目2番10号			
分野	Ī	認定課程名		認定学科	名	(電話)	03-3292-6266 引士認定年度	高度専門士認定	で	実践専門課	程認定年度
商業実務		実務専門課程	医	療管理2年制			29(2017)年度	-		令和 1(201	
学科の目的	することを	目的とする。具体的]には、医療事	事務職に必要な	な患者対応力	、診療報酬	て医療請求事務に関す 請求事務、医療関連法 りを育成することを目的	規等の知識・技術・お。			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【取得可能	な資格】診療報酬	请求事務能力]認定試験(医	科)、医師事	務作業補助 技	技能認定試験、医療請	求事務検定、医療秘書	書実務検定、MOS	など	
修業年限	昼夜	全課程の修了に	必要な総授業 単位数	時数又は総	講事	É,	演習	実習	実験		実技
2 年	昼間	※単位時間、単位い かに記入	1,86	0 単位時間単位	1,230	単位時間単位	840 単位時間	420 単位時間	0 単位時	間	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留雪	生数(生徒実)	in (B)	留学生割·	合(B/A)	中退率				
60 人	43	Д		0 人	0	%	6 %				
	■卒業者 ■ む 映 柔	数 (C) 望者数 (D)	:	34 32		-	<u>_</u>				
	■就職者		:	32		숫					
	■地元就 ■就職率	職者数(F)		29		<u>人</u>					
		(E/D) に占める地元就職	者の割合 (F/			%					
	■卒業老Ⅰ	こ占める就職者の	割合 (F/C)	91		%					
			., L (L/O)	94		%					
就職等の状況	■進学者■その他	釵		0名		人					
	ウホエク	1.047									
	家事手伝	い2名									
	(令和	6 年度卒	業者に関する	令和 7 年5月	1日時点の情報	級)					
	■主な就	職先、業界等									
	(令和6年度	卒業生) ニック、調剤薬局	华								
	が成って、ブリ	一フフ、調用采用	₹								
		評価機関等から					無				
第三者による 学校評価	※有の場合	、例えば以下につい									
	※有の場合				受審年月:		評1	面結果を掲載した - ムページURL			
学校評価 当該学科の	※有の場合	・、例えば以下につい 評価団体:	て任意記載				評1				
学校評価	※有の場合	、例えば以下につい	て任意記載				評1				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	・、例えば以下につい 評価団体:	て任意記載 enmon/scho				評1				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	・、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s	て任意記載 enmon/scho				評1		1,860 単位問	寺間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s 立時間による算定 総授業時数	で任意記載 enmon/scho		o_iryo/	受業時数	評1		1,860 単位田 390 単位田		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	・ 例えば以下につい 評価団体:ww.o-hara.ac.jp/s立時間による算定 総授業時数うち企	で任意記載 enmon/scho	ool/kumamot	o_iryo/ 習・実技の摂	受業時数	評1			寺間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	 ・ 例えば以下についます ・ www.o-hara.ac.jp/s ・ 立時間による算定 総授業時数 うち金 うち金 	で任意記載 enmon/scho	pol/kumamote した実験・実	o_iryo/ 習・実技の摂	受業時数	評1		390 単位時	寺間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	 ・ 例えば以下についます ・ www.o-hara.ac.jp/s ・ 立時間による算定 総授業時数 うち金 うち金 	で任意記載 enmon/scho 業等と連携 修授業時数	ool/kumamot した実験・実 した演習の授	o_iryo/ 習・実技の搭 業時数		評1		390 単位的 0 単位的	寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	 ・ 例えば以下についます ・ www.o-hara.ac.jp/s ・ 立時間による算定 総授業時数 うち金 うち金 	で任意記載 enmon/schoo 業等と連携 業等と連携 修授業時数 うち企業	ool/kumamot した実験・実 した演習の授	o_iryo/ 習・実技の搭 業時数 た必修の実験	・実習・実	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位的 0 単位的 120 単位的	寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 https://w	、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	enmon/schol 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 は等と連携した	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験	・実習・実 の授業時数	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位的 0 単位的 120 単位的 120 単位的	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携した。	※有の場合 https://w	、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	enmon/schol 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 と等と連携した	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験	・実習・実 の授業時数	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位的 0 単位的 120 単位的 120 単位的 0 単位的	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企うち企うち必 (うち 	enmon/schol 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 と等と連携した	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験	・実習・実 の授業時数	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位田 0 単位田 120 単位田 120 単位田 0 単位田	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況への実施になっています。	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うち企 (うち 金数による算定) 	で任意記載 enmon/schoo 業等と連携 を授業時数 うち企業 うち企業 企業等と連持	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 と等と連携した 集ちと連携したインタ	o_iryo/ 習・実技の哲 業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの	・実習・実 の授業時数) 分授業時数)	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位明 0 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況への実施になっています。	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うち企 (うち な数による算定) 総単位数 うち企 	enmon/school 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 企業等と連携	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 と等と連携した 集等と連携したインタ	o_iryo/ 習・実技の哲 業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの	・実習・実 の授業時数) 分授業時数)	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位明 0 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況への実施に扱いずれる、Bいずれ	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 数による算定) 2数による算定) 総単位数 うち企 うち企 	enmon/school 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 金業等と連携 業等と連携	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 と等と連携した 集ちと連携したインタ	o_iryo/ 習・実技の哲 業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの	・実習・実 の授業時数) 分授業時数)	評ポート おおま おおま おまま おまま おまま おまま はまま はまま はまま はまま		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況への実施に扱いずれる、Bいずれ	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 数による算定) 2数による算定) 総単位数 うち企 うち企 	で任意記載 enmon/scho 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 企業等と連携 修単と連携	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 と等と連携した 集したインタ した実験・実 した演習の単	o_iryo/ 習・実技の哲 楽時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単 位数	・実習・実 の授業時数) 授業時数)	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況への実施になっています。	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 数による算定) 2数による算定) 総単位数 うち企 うち企 	enmon/school 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 を主連携 修修と連携 修修と連携 を企業等と連携 修修と連携 を登りる。	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 は等と連携しか 携したインタ した実験・実 した演習の単	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 単位数 ・実習・実	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携しした況 を表習等の実施状れか	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac.jp/: 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うちを必 うちを必 うちを必 うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	enmon/school 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 を企業等と連携 修権 うち企業 を連携 を連携 を連携 を連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを変える。	pol/kumamoto した実験・実 した演習の授 は等と連携した まりたインタ	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験でいるののである。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・実習・実 の授業時数) 担位数 ・実習・実 の単位数	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 0 単位明 4 位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac.jp/: 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うちを必 うちを必 うちを必 うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	enmon/school 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 を企業等と連携 修権 うち企業 を連携 を連携 を連携 を連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを変える。	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 は等と連携しか 携したインタ した実験・実 した演習の単	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験でいるののである。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・実習・実 の授業時数) 担位数 ・実習・実 の単位数	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携しした況 を表習等の実施状れか	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac.jp/: 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うちを必 うちを必 うちを必 うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	enmon/school 業等と連携 修授業時数 うち企業 うち企業 を企業等と連携 修権 うち企業 を連携 を連携 を連携 を連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを連携 を変素をを変える。	pol/kumamoto した実験・実 した演習の授 は等と連携した まりたインタ	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験でいるののである。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・実習・実 の授業時数) 担位数 ・実習・実 の単位数	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 0 単位明 4 位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況への実施になっています。	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ 例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac.jp/: 立時間による算定 総授業時数 うちなうちなうちなうちなく (うきな数による算定) 総単位数 うちなうちなく (うきなずを) (うちなずを) (うなずを) (う	で任意記載 enmon/scho 業等と連携機会を連携を発棄時数 業業等と連携機会を企業等をと連携機能を対しています。 東等と連携機能を対しています。 企業等とと連携機能を対しています。 で業等とは連携機能を対しています。 で業等とは連携機能を対しています。 で業等とは連携機能を対しています。 でまずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるとは、まずるもは、まずるとは、まずるとは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるとは、まずるもは、まずるとは、まずるとは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもは、まずるもはまずるもはまずるもはまずるまずるもはまずるもはまずるまずるまずるまするまずるまずるまずるまずるまずるまするまずるまずるまずるまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまする	pol/kumamot した実験・実 した実験・実 した演習の授 等と連携した 集したインタ した実験・実 した演習の単 と等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した な等と連携した な等と連携した な等と連携した ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験 こ必修の演習・実技の単位数 た必修の実験 である。	・実習・実習・実の授業時数) が授業時数) 単位数 ・実習・実 の単位数 の単位数	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 0 単位明 4 位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況への実施状れか	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac.jp/s 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	enmon/schol 業等と連携携接接をと連携を受ける。 素等とと連携を受ける。 なる。 素等とと連携を受ける。 なる。 素等とと連携を対している。 なる。 までは、 なるは、 なるは、 なるは、 なるは、 なるは、 なるは、 なるは、 なる	pol/kumamoto した実験・実した実験・実した演習の授業等と連携したインターにた演習の単した大演習の上に大演習の上に大演習の上に大演習の上に大演習の上に大演習の上に大変等と連携したインターでした後であった。	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実 の授業時数) 授業時数) ・実習・実 の単位数)単位数)	評(水・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-A<-yUR L	390 単位明 120 単位明 120 単位明 0 単位明 0 単位明 0 単位明 4 位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況への実施状れか	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ (例えば以下につし評価団体: ・ www.o-hara.ac.jp/s ・ 立時間による算定総授業時数 ・ うち企業 ・ うちのない ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	TC任意記載 enmon/scho 業等と連携等と連携時数業業等とと連携時数業業等とと連携時数業業等とと連携を全企連携機関業業等をとのある。 企業業等を企変を発展した。 ま門背と当様に数なる。 は、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいでは、またいのでは、またいのでは、	pol/kumamoto した実験・実した実験・実した演習の授業等と連携したインターにた演習の単した大演習の上に大演習の上に大演習の上に大演習の上に大演習の上に大演習の上に大変等と連携したインターでした後であった。	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実 の授業時数) 授業時数) ・実習・実 の単位数)単位数)	評け、水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-A<-yUR L	390 単位四 0 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携しした況 を表習等の実施状れか	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ (例えば以下につし 評価団体: ・ www.o-hara.ac.jp/: ・ 立時間による算定 総授業・ うちな うちな うちな うちな うちな うちな うちな うちな	enmon/scho 楽等と連携機 をと連携機 を接換業等と連携機 うち企業 を企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携した まりた。実験・実 した演習の単 と等と連携した まりた。実験・実 したま演習の単 と等と連携した まりた。まります。	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 4位数 ・実習・実 の単位数) (専修学	 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項	第1号)	390 単位田 0 単位田 120 単位田 0 単位田 0 単位田 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホージ URL と業等と連携した規 と変わる。 とまでは、 (A、 に記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ (例えば以下につし 評価団体: ・ www.o-hara.ac,jp/: ・ 立 数 うち 金 うち 金 うち 変 	で任意記載 enmon/scho 業等と連携機響をと連携機響を企業等とと連携機響を企業等を企業を企業等を企業を登立を連携を企業を登立を連携を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を必要といる。	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携した まりた。実験・実 した演習の単 と等と連携した まりた。実験・実 したま演習の単 と等と連携した まりた。まります。	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実 の授業時数) 授業時数) (単位数 ・実習・実 の単位数) (専修学	評(水・ ・ 技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	第1号) 第2号)	390 単位四 0 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のいた況か に記入) に記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 ・ (例えば以下につし 評価団体: ・ www.o-hara.ac.jp/s ・ 立数による算定 総授業時数 うちな うちな うちな うちな うちな うちな うちな うちな	で任意記載 enmon/scho 業等と連携機関を企業等と連携機関を企業等を企業等を企業等を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携したインタ した実験・実 した演習の単 と等と連携したインタ した実験の単 と等と連携した ま等と連携した まちます。 までものである。 までは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、ま	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実 の授業時数) ク授業時数) を全位数 ・実習・実 の単位数) (専修学 (専修学	接の授業時数 接の授業時数 接の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	390 単位四 0 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人 0 人 0 人	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携様しした況かに記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac.jp/s 立時間による 第定 総授業時 うちむ	で任意記載 enmon/scho 業等と連携機関を企業等と連携機関を企業等を企業等を企業等を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携したインタ した実験・実 した演習の単 と等と連携したインタ した実験の単 と等と連携した ま等と連携した まちます。 までものである。 までは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、ま	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実習・実の授業時数) 授業時数) ・実習・実 の単位数 ・単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	390 単位四 0 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のいた況か に記入) に記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac.jp/s 立時間による 第定 総授業等 うちむ (うちなど) (うなど) (など) (うなど) (で任意記載 enmon/scho 業等と連携機関を企業等と連携機関を企業等を企業等を企業等を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携したインタ した実験・実 した演習の単 と等と連携したインタ した実験の単 と等と連携した ま等と連携した まちます。 までものである。 までは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、ま	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・大変をのの実験である。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 ではなり、できた。	・実習・実習・実の授業時数) 授業時数) ・実習・実 の単位数 ・単位数 (専修学 (専修学 (専修学	接の授業時数 接の授業時数 接の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	390 単位四 120 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 0 単位四 2 上位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施状かした況かに記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac.jp/s 立時間による 第定 総授業時 うちむ	で任意記載 enmon/scho 業等と連携機関を企業等と連携機関を企業等を企業等を企業等を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携したインタ した実験・実 した演習の単 と等と連携したインタ した実験の単 と等と連携した ま等と連携した まちます。 までものである。 までは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、ま	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・実技の単位数 を必修の実験習がある。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 では、	・実習・実習・実の授業時数) 授業時数) ・実習・実 の単位数 ・単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	390 単位四 0 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位 型位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施状かした況かに記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	、例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac.jp/s 立時間による 第定 総授業等 うちむ (うちなど) (うなど) (など) (うなど) (で任意記載 enmon/scho 業等と連携機関を企業等と連携機関を企業等を企業等を企業等を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を企業を	pol/kumamot した実験・実 した演習の授 等と連携した 集等と連携したインタ した実験・実 した演習の単 と等と連携したインタ した実験の単 と等と連携した ま等と連携した まちます。 までものである。 までは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、ま	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修の実験習・実技の単位数 を必修の実験習がある。 では数 を必修の実験である。 では数 を必修のの実験である。 では、	・実習・実習・実の授業時数) 授業時数) ・実習・実 の単位数 ・単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	390 単位四 120 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 0 単位四 2 上位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 主要等等のは、 を実際等ののに記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	 (例えば以下につし 評価団体: www.o-hara.ac,jp/s 立 時間による第定 立 総授業時数 うちむ 立 数による数 (うちな数 (うちな数 (うちな数 (うちながらなり (うちながらなり (うちながらなり でを課程でする。 (うちながらなり でをいるのでは、 できないのでは、 できな	TC任意記載 中mon/scho 東等とと連携時数 業業 等 企業 等等ととも位う方等 企業 等ととは連携 数 業業 等 企企 連携 携数 業業 等 企企 連携 携数 業業 等 企企 連接 接	pol/kumamot した実験・実 した実験で を実 では は な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に な の に	o_iryo/ 習・実技の哲業時数 た必修のの実験である。 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 とをものでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	・実習・実習・実の授業時数) ・実習・実 ・変響・変 ・変響・数 ・変響・変 ・変響・変 ・変響・変 ・変響・変 ・変響・変 ・変響・変 ・変響・変 ・変響・変	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	390 単位四 120 単位四 120 単位四 0 単位四 0 単位四 0 単位四 2 上位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上位	寺間 寺間 寺間 寺間 寺間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就業先である一般事業会社と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術 を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②商業実務分野における学修の中心となる会計知識、計数能力、マーケティング知識、情報パソコンスキルは勿論のこと、より高度な会計知識である、財務開示、財務分析などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最 新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育 課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年8月27日

名 前	所 属	任期	種別
園田 美樹	日本医師事務作業補助協会 熊本県支部 支部長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	1
塩見 智恵子	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 医療秘書室室長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	3
西村 幸夫	熊本保育医療スポーツ専門学校 校長		_
吉川 直樹	熊本保育医療スポーツ専門学校 副校長		-
芦川 佐智子	熊本保育医療スポーツ専門学校 教務2課課長		_
築山 智美	熊本保育医療スポーツ専門学校 専任教員		_
倉野尾 莉桜	熊本保育医療スポーツ専門学校 専任教員		_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、12月)

(開催日時(実績))

令和6年度第1回 令和6年8月2日 11:00~12:00

令和6年度第2回 令和6年2月17日 14:30~15:30

令和7年度第1回 令和7年8月17日 15:00~16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ストレス管理やメンタルヘルスケアの必要性についてアドバイスをいただき、「キャリアデザインII」と「医師事務作業補助 II」の授業内で、適応障害や抑うつなど事例を通してストレス管理の大切さについて学習する内容を追加した。また、医師事務作業補助の教育内容について、1年次の「医療請求事務応用 I 」で、医師事務作業補助体制加算について学習する時間があり、その際に医師事務作業補助についての説明を追加したため、医師事務作業補助者に興味を持つ学生が増えた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①中規模から大規模の医療機関で、医事課職員の指導の下、実習を実施する。また、病院の基本的機能の理解、病院内における医事課の役割、患者応対方法の実践を学び、身に付けられるよう、内容等の組み立てを調整する。
- ②医療機関等との連携による実習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革、医療従事者としての意識改革を実現する。
- ③医療機関担当者と実習部署、実習内容を検討し、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを医療機関等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

医療機関等に病院実習受け入れ依頼を行い、病院実習受け入れ承諾書を頂戴するとともに、打合せを行い、下記の4点について連携している。① 医事課担当者と打ち合わせを行い、実習日程、実習内容、到達目標、評価指標等を調整・決定② 医療機関内の各施設、各部署の見学、実習の実施③ 学生の実習状況の確認及び医事課担当者との情報交換のため、担当教員による訪問、企業・教員・学生による面談④ 実習修了時の学生の学修成果の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
病院実習 I	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	実務経験及び授業との関連性:患者 及び医療スタッフとの接触を通じた医 療現場の実態を体験する実践的な教 育により、医療事務員の基本的態度 や応対に必要な基本的技術を身につ けさせる。	院、熊本赤十字病院、宇城総合病 院、武蔵ケ丘病院、慈恵病院、阿蘇
病院実習Ⅱ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	病院にて医療事務員として必要な 基礎知識を学ぶ。	くまもと県北病院、平成とうや病院、 熊本赤十字病院、山鹿中央病院、熊 本地域医療センター、上天草総合病 院、宇城総合病院等(連携企業33 件)
病院実習Ⅲ	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	病院にて医療事務員として必要な 基礎知識を学ぶ。	福田病院、悠紀会病院、本庄内科病院、あけぼのクリニック、たかぞえ内科循環器内科クリニック、ふくだ医院、にしな歯科(連携企業11件)
病院実習Ⅳ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	実務経験及び授業との関連性:患者 及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度 や応対に必要な基本的技術を身につけさせる。	院、あけぼのクリニック、たかぞえ内 科循環器内科クリニック、ふくだ医
病院実習V	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	実務経験及び授業との関連性:患者 及び医療スタッフとの接触を通じた医 療現場の実態を体験する実践的な教 育により、医療事務員の基本的態度 や応対に必要な基本的技術を身につ けさせる。	院、あけぼのクリニック、たかぞえ内 科循環器内科クリニック、ふくだ医

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。「大原学園 教職員研修規定」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は下記のとおり。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を招いた実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師を招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医師事務作業補助者のアプローチ ~医療の質向上へ/タスクシフト・シェア~ 連携企業等:日本医師事務作業補助協会

期間: 令和6年7月13日(土)14:00~16:30

①講演「成尾整形外科病院における医師事務作業補助者の役割と質向上への取り組み」

内容 ②講演「理想の医療秘書を求めて」

③事例発表「各病院における医師事務作業補助業務の紹介」

②指導力の修得・向上のための研修等

期間: 令和6年12月24日(火) 対象:全教員

①「やる気」と「行動」の関係

「やる気」はあるが何らかの「理由」で結果が出ない状態から、本当に「やる気がない」状態になると退学へとつながる。「やる気」のメカニズムを理解し、途中支援の方法について概要を理解する。

対象: 医療管理2年制学科教員

②学生の「行動の理由」を考える

内容学生の行動理由をケアすることで、学生の行動変容につながる。多角的に学生の行動理由を発見できる

ように基本的知識を身につける。

③「授業中に寝る学生」の事例をもとにその支援法を検討する

「授業中に寝る」理由には、家庭の事情や障害等、様々な理由がある。理由別に支援方法について学ぶことで、教員の指導能力向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医師の働き方改革から1年 ~医療DXと質の改善への取り組みとその後 連携企業等:日本医師事務作業補助協会

期間: 令和7年8月23日(土)14:00~16:30 対象: 医療管理2年制学科教員

内容
①医師事務作業補助者と連携支援課の相互理解と協働戦略②辞令発表

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害(具体的な支援) 連携企業等: 国立特別支援教育総合研究所

期間: 令和7年8月1日(金) 対象: 各学科代表教員

①発達障害児の現状と課題

就労支援機関を利用する発達障害者が増加している。

・障害がある場合、障害の開示・非開示や進学・就労等、進路選択肢は複雑となる。

・発達障害者の就職後1年時点の定着率(ハローワーク調べ)は、障害者求人では79.5%であるのに対

し、一般求人では33.3%であった。

・発達障害者の職場の困難さとして、「複数の指示を同時に行うと混乱する」「メモをとれない」「手順が多い内容 と抜けてしまう」「自分のやり方に固執する」「1対多の会話が難しい」等がある。

②キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることや発達段階に応じた自己理解が大切である。

③就労を見据えて大切にしたいことについて 本人の納得感に基づき、必要な支援・連携につなげていくことができるとよい。

研修名: 子どもたちの笑顔のため 連携企業等: 社会的養育総合支援センター

期間: 令和7年12月19日(金) 対象: 全教職員

子どもたちの向き合い方の事例紹介から、学校内における学生との触れ合い、向き合い方についての向した例ろう。名くのオーバスデオなたに成果を求めるが、それぞれまでいるだけです。また価値があり、その

内容 上を図る。多くの大人は子どもたちに成果を求めるが、そもそも生きているだけで大きな価値があり、その

⁷⁷⁴⁷ 理解から学生と本当の意味でのコミュニケーションの方法を理解する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当校の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 (1)教育理念•日標 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 (2)学校運営 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤ 意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 4学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされている か。 (3)教育活動 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ れているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行う事ができる要件を整えた教員を確保し ているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 9資格取得の指導体制はあるか。 ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら れているか。 (4)学修成果 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 (5)学生支援 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて いるか。 (6)教育環境 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制 を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行われているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 (7)学生の受入れ募集 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。

(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

退学に関する内容ならびに保護者との連携についてご意見をいただいた。退学理由によりアプローチも異なるため理由の 因数分解を行う必要がある。また小さな変化で気づく体制づくりと人間関係を含め学校生活が理想とのずれがあることを理 解させる必要がある。更にはマイルストーン制度の導入も検討し小さな目標達成で自己肯定を積み重ねていくことも大切と 考える。最後に大学不合格による不本意入学もあると思われる。キャリアカウンセリングを行い、目標設定を明確にしてくこ とも大切と考える。

また保護者との連携について、丁寧すぎる部分があるのではないか。学生は既に成人を迎えているため、学生が問題を抱えた際に親に報連相をする項目を明確にするべきと考える。細かく報連相をされても親としても対応できない場面が想像できる。頂いた意見を踏まえ、丁寧に学校運営に反映をしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年8月27日

株工大学大学院人文社会科学研究部法学系教授	名 前	所 属	任期	種別
勝坂 売	外川 健一			企業等委員
西田 向史 祝理士法人 未来稅務会計事務所 代表社員 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 報谷 幹也 マインドソフトウエア株式会社 取締役 令和7年4月1日~ 企業等委員 所本学園大学 商学部 教授 令和7年4月1日~ 企業等委員 所本 市消防局 完和9年3月31日(2年) 企業等委員 所本 市消防局 完和9年3月31日(2年) 卒業生 野崎 大和 税理士法人 未来稅務会計事務所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 卒業生 福嶋 義信 一般社団法人熊本県保育協会 理事長 令和7年6月1日~ 令和9年3月31日(10ヶ月) 企業等委員 備海 伸隆 一般社団法人熊本県保育協会 理事長 令和9年3月31日(10ヶ月) 企業等委員 常和6年4月1日~ 企業等委員 管和6年4月1日~ 企業等委員 管和6年4月1日~ 企業等委員 管和6年4月1日~ 企業等委員 管和6年4月1日~ 企業等委員 管本医師事務作業補助協会 常和6年4月1日~ 企業等委員 管本医師事務作業補助協会 常和6年4月1日~ 企業等委員 管理子 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 宗和6年4月1日~ 企業等委員 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 宗和6年4月1日~ 企業等委員 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 令和6年4月1日~ 企業等委員 管本 和雄 知本 表記人 常和7年4月1日~ 企業等委員 管本 日本 医師事務作業補助 常月31日(2年) 企業等委員 管本 日本 医師事務作業福祉学部 令和7年4月1日~ 企業等委員 管本 日本 長田 本芸会社・ポナンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 会和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 管球市役所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 管域市役所 常和9年3月31日(2年) 企業等委員 管域市役所 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 中球市役所 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 世界 土田 土田 共工 株式会社・デジタル ロークス アンタテイン かった 常和7年4月1日~ 企業等委員 世界 共工 世界 大田 大田 本田	脇坂 亮	防衛省 自衛隊熊本地方協力本部 主任広報官		企業等委員
照合 幹也 マイントソフトウエア株式会社 取締役 令和9年3月31日(2年) 企業等委員	西田 尚史	税理士法人 未来税務会計事務所 代表社員		企業等委員
日野 修宣 熊本字園大字 商字部 教授 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 小林 禁土 全和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 卒業生 令和9年3月31日(2年) 卒業生 令和9年3月31日(2年) 卒業生 令和9年3月31日(2年) 卒業生 令和9年3月31日(2年) 卒業生 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 令和6年4月1日~ 令和9年3月31日(1年2か月) 企業等委員 企業を管量 企業等委員 企業等委員 企業等 企業を管量 企業を管量 企業を管量 企業を管量 企業を管量	熊谷 幹也	マインドソフトウエア株式会社 取締役		企業等委員
原本中消防局 令和9年3月31日(2年) 卒業生 野崎 大和 税理士法人 未来税務会計事務所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 卒業生 福嶋 義信 一般社団法人熊本県保育協会 理事長 令和7年5月31日(1年2か月) 企業等委員 企業等委員 令和7年6月1日~ 令和8年3月31日(10ヶ月) 企業等委員 企業を表員 企業等委員 企業等委員 企業等委員 企業等委員 企業等委員 企業等委員 企業を表員 企業を表員	日野 修造	熊本学園大学 商学部 教授		企業等委員
野崎 大和 祝理士法人 未米税務会計事務所 令和9年3月31日(2年) 卒業生福嶋 義信 一般社団法人熊本県保育協会 理事長 令和6年4月1日~令和7年6月31日(1年2か月) 企業等委員備海 伸隆 一般社団法人熊本県保育協会 理事長 令和8年3月31日(10ヶ月) 企業等委員松本 純子 児童養護施設 菊水学園 施設長 令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年) 企業等委員園田 美樹 日本医師事務作業補助協会 令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年) 企業等委員塩見 智恵子 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年) 企業等委員上見 智恵子 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年) 企業等委員上 九州看護福祉大学 看護福祉学部 令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年) 企業等委員岩下 壱成 MY-GYM Art de vivre パーソナルトレーナー 令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年) 卒業生村田 一基 株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年) 企業等委員伊藤 圭司 宇城市役所 令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年) 企業等委員和日 中級社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年) 企業等委員和日 中級社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年) 企業等委員	小林 誉	熊本市消防局		卒業生
福嶋 義信 一般在団法人熊本県保育協会 理事長 令和7年5月31日(1年2か月) 企業等委員 備海 伸隆 一般社団法人熊本県保育協会 理事長 令和7年6月1日~ 令和8年3月31日(10ヶ月) 企業等委員 松本 純子 児童養護施設 菊水学園 施設長 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) 企業等委員 園田 美樹 日本医師事務作業補助協会 宗和6年4月1日~ 企業等委員 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 宗和8年3月31日(2年) 企業等委員 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 宗和8年3月31日(2年) 企業等委員 社会福祉法人學 看護福祉学部 宗和7年4月1日~ 令和7年4月1日~ 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 岩下 壱成 MY-GYM Art de vivre パーソナルトレーナー 宗和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 卒業生 村田 一基 株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 宗和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 伊藤 圭司 宇城市役所 宗和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 紀伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 宗和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 出田 井平 株式会社デジタルロークスエンタテインより 令和7年4月1日~ 令業等委員 地田 井平 株式会社デジタルロークスエンタテインより 令和7年4月1日~ 企業等委員 地田 井平 (本式会社・デジタルロークスエンタティンより 令和7年4月1日~ 会業等委員 かり おり はまた はまます はままから 中の7年4月1日~ 会業等委員 かり おり はままから かり はままない から かり はままから かり から かり はままない から かり はままない から かり から から かり から	野﨑 大和	税理士法人 未来税務会計事務所		卒業生
	福嶋 義信	一般社団法人熊本県保育協会 理事長		企業等委員
松本 純子	備海 伸隆	一般社団法人熊本県保育協会 理事長		企業等委員
園田 美個 熊本県支部 支部長 令和8年3月31日(2年) 企業等委員 塩見 智恵子 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 医療秘書室室長 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) 企業等委員 平崎 和雄 九州看護福祉大学 看護福祉学部 会和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 岩下 壱成 MY-GYM Art de vivre パーソナルトレーナー 令和9年3月31日(2年) 卒業生 村田 一基 株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 会和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 伊藤 圭司 宇城市役所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 紀伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 地田 井田 株式会社デジタルロークスエンタテイパル 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 地田 井田 株式会社デジタルロークスエンタテイパル 令和7年4月1日~ 令業等委員 ・ 本等委員	松本 純子	児童養護施設 菊水学園 施設長		企業等委員
近見 音思子 医療秘書室室長 令和8年3月31日(2年) 企業等委員 中崎 和雄 九州看護福祉大学 看護福祉学部 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 岩下 壱成 MY-GYM Art de vivre パーソナルトレーナー 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 卒業生 村田 一基 株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 伊藤 圭司 宇城市役所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 企業等委員 紀伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 企業等委員 金米等委員 金米等登員	園田 美樹			企業等委員
平崎 和雄 鍼灸スポーツ学科 准教授 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 岩下 壱成 MY-GYM Art de vivre パーソナルトレーナー 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 卒業生 村田 一基 株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 伊藤 圭司 宇城市役所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 紀伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 地田 井平 株式会社デジタルロークスエンタティイント 令和7年4月1日~ 令業等委員 ・本式会社デジタルロークスエンタティイント 令和7年4月1日~ 令業等委員	塩見 智恵子	医療秘書室室長		企業等委員
Art de vivre ハーソナルトレーナー 令和9年3月31日(2年) 卒業生 村田 一基 株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサン 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 で城市役所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 記伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 企業等委員 本式会社デジタルロークスエンタティイント 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 本式会社デジタルロークスエンタティイント 令和7年4月1日~ 企業等委員 日本	平崎 和雄		令和9年3月31日(2年)	企業等委員
村田 一基 ス熊本南 支配人 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 伊藤 圭司 宇城市役所 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 紀伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 地田 井亚 株式会社デジタルロークスエンタティント 令和7年4月1日~ 令和7年4月1日~ 企業等委員	岩下 壱成		令和9年3月31日(2年)	卒業生
伊藤 主司 宇城市役所 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 紀伊 翔吾 一般社団法人熊本eスポーツ協会 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) 企業等委員 地田 井平 株式会社デジタルロークスエンタテイプル。 令和7年4月1日~ 令和7年4月1日~ 企業等委員	村田 一基		令和9年3月31日(2年)	企業等委員
社伊 翔音	伊藤 圭司	宇城市役所	令和9年3月31日(2年)	企業等委員
	紀伊 翔吾	一般社団法人熊本eスポーツ協会	令和9年3月31日(2年)	企業等委員
	池田 恭平	株式会社デジタルワークスエンタテイメント		企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月8日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革
(2)各学科等の教育	① 入学定員 ②受入方針 ③進級要件 ④卒業要件
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	-
(11)その他	-
\!\\\ -\\ \\ -\\ \\ -\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月8日

授業科目等の概要

	(商業実務専門課程 医療管理2年制学科)															
		分類							授業方法			場	所	教	員	
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技	校内	校外			企業等との連携
1	0			一般教養 I	ビジネスで使用される初歩的な熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ。	1前	30	1	0			0		0		
2	0			キャリアデザ イン I	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ。	1前	30	1	0			0		0		
3	0				医療事務員として仕事をするための心構 え・準備内容を理解する。	1通	30	1	0			0		0		
4	0				診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ。	1前	60	2	0			0		0		
5	0			医療請求事務 基礎 Ⅱ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ。	1前	30	1	0			0		0		
6	0			医療請求事務 基礎演習	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ。	1前	60	2		0		0		0		
7	0			医療請求事務応用Ⅰ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ。	1前	60	2	0			0		0		
8	0			医療請求事務 応用Ⅱ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ。	1前	30	1	0			0		0		
9	0			医療請求事務 応用演習	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ。	1通	30	1		0		0		0		
10	0				医療秘書の職務と役割を理解するための基 礎的な知識を学ぶ。	1前	60	2	0			0		0		
11	0			医療秘書実務 基礎 Ⅱ	医療秘書の職務と役割を理解するための基 礎的な知識を学ぶ。	1前	30	1	0			0		0		
12	0				医療秘書の職務と役割を理解するための基 礎的な知識を学ぶ。	1通	30	1		0		0		0		

13	0			医療秘書の職務と役割を理解するための応 用的な知識を学ぶ。	1後	30	1	0			0		0	
14	0		医療秘書実務 応用 Ⅱ	医療秘書の職務と役割を理解するための応 用的な知識を学ぶ。	1後	30	1	0			0		0	
15	0		医療秘書実務 応用演習	医療秘書の職務と役割を理解するための応 用的な知識を学ぶ。	1後	30	1		0		0		0	
16	0		医療秘書実践 I	受付での患者応対マナーや対応方法を身に 付ける。	1前	30	1		0		0		0	
17	0			受付での患者応対マナーや対応方法を身に付ける。	1前	60	2		0		0		0	
18	0		医療秘書実践 Ⅲ	受付での患者応対マナーや対応方法を身に付ける。	1後	30	1		0		0		0	
19	0		病院実習 I	実務経験及び授業との関連性:患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる。	1後	60	2			0		0	0	0
20		0	診療報酬基礎	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ。	1前	30	1	0			0		0	
21		0	診療報酬応用 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ。	1後	60	2	0			0		0	
22		0	診療報酬応用 Ⅱ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ。	1後	60	2	0			0		0	
23		0	診療報酬演習	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な演習を行う。	1後	60	2		0		0		0	
24	0		患者接遇論概 論	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付け る。	1後	30	1		0		0		0	
25	0		ビジネス教養 I	医療機関で多岐にわたり使用される電卓の スピード、正確性を高める実技演習を行 う。		30	1		0		0		0	
26	0		一般教養Ⅱ	ビジネスで使用される基本的な熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ。	1後	30	1	0			0		0	
27		0	医療キャリア デザイン II	医療事務員としての自己表現力を身に付け る。	1後	30	1	0			0		0	

					1									
28		0	医療キャリア デザインⅢ	医療事務員としての自己表現力を身に付け る。	1後	60	2	0			0		0	
29		0	ビジネス文書 作成	ビジネス文書作成の基礎を学び、文書作成 能力を身に付ける	1後	30	1		0		0		0	
30	0		医療秘書実践 IV	受付での患者応対マナーや対応方法を身に 付ける。	2前	60	2		0		0		0	
31	0		医療秘書実践 V	受付での患者応対マナーや対応方法を身に 付ける。	2通	60	2		0		0		0	
32	0		キャリアデザ インⅡ	病院などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習を行う。	2前	30	1	0			0		0	
33	0		キャリアデザ インⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を 身につける為の学習を行う。	2前	30	1	0			0		0	
34	0		病院実習Ⅱ	病院にて医療事務員として必要な基礎知識 を学ぶ。	2前	60	2			0		0	0	0
35		0	医師事務作業 補助 I	医療保険制度及び医療関連法規について学ぶ。	2前	30	1	0			0		0	
36			医師事務作業 補助Ⅱ	医学・薬学に関連する知識及び医師事務作 業補助業務や各種医療文書等について学 ぶ。		30	1	0			0		0	
37			医師事務作業 補助演習	診断書や各種証明書、請求書を作成するための基礎を身に付ける。	2前	30	1		0		0		0	
38	0		ビジネス教養 Ⅱ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養 う。	2通	30	1		0		0		0	
39	0		接遇論マナー実践	患者接遇に必要な知識を身に付ける。	2前	60	2		0		0		0	
40	0		医療キャリア デザインⅣ	医療事務員としての自己表現力を身に付け る。	2前	30	1	0			0		0	
41		0	医療キャリア デザインV	医療事務員としての自己表現力を身に付け る。	2前	60	2	0			0		0	
42		0	医療キャリア デザインⅥ	医療事務員としての自己表現力を身に付け る。	2前	30	1	0			0		0	
43	0		ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する。	2後	60	2	0			0		0	

44	0		医療ビジネス マナー I	基本的なビジネススキルの向上させる。	2後	30	1		0		0		0	
45	0		医療ビジネス マナー II	ロールプレイを行いながら実践的な知識を 身に付ける。	2後	30	1		0		0		0	
46	0		請求事務実践 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ。	2後	30	1	0			0		0	
47	0		請求事務実践 Ⅱ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識の向上を図 る。	2後	30	1	0			0		0	
48	0		社会保険基礎論	保険の基礎的な知識を学ぶ。	2後	30	1	0			0		0	
49	0		医学知識	病院受付でも患者対応できるように医学的 な基礎的知識を学ぶ。	2後	30	1	0			0		0	
50	0		Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する。	2前	60	2	0			0		0	
51	0		Excel応用	MOSExcel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習を行う。		30	1		0		0		0	
52	0		Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する。	2前	60	2	0			0		0	
53	0		Word応用	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を 習得する。	2前	30	1		0		0		0	
54		0	医 事 コ ン ピュータ・電 子カルテ実習	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な 操作を習得する。	2前	30	1			0	0		0	
55	0		パソコン実習 I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識 を身につける実習を行う。	2後	30	1		0		0		0	
56	0		パソコン実習 Ⅱ	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習を行う。	238	30	1		0		0		0	
57		0	病院実習Ⅲ	病院にて医療事務員として必要な基礎知識 を学ぶ。	2前	60	2			0		0	0	0
58		0	病院実習IV	実務経験及び授業との関連性:患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる。	2後	60	2			0		0	0	0

59	0	病院実習Ⅴ	実務経験及び授業との関連性:患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる。	2後	60	2		0		0	0		0
60	0	病院実習VI	実務経験及び授業との関連性:患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる。	2後	30	1		0		0	0		0
61	0	病院実習Ⅷ	実務経験及び授業との関連性:患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる。	2後	60	2		0		0	0		0
	合	計	61	科	目			2, 490	単位	時間	引(8	3単位	L)

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
本校に在学し、1,860時間(62単位)授業時間(単位)の履修及び卒業要件:所定の授業科目の成績評価に基づき卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法: (試験) 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。2. 本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 (学業成績) 1. 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、次のとおりとする。 (1) 秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。 授業科目の成績は、5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP (Grade Point) を与える。	1 学期の授業期間	22 週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。